

# 読者のひろば

## 菊池恵楓園をガイドした夏

高谷和生 57歳 公務員

(玉名市)

菊池恵楓園(合志市)

のボランティアガイドを始めて2度目の夏が終わろうとしている。私にとって夏は、戦争の記憶をたどり、記録し、平和の大切さを伝える季節であったが、昨年より新しい活動が始まった。

平日は仕事の都合で難しいことから、夏に集中して3回のガイド活動を行い、無事に終えることができた。果たして心にしみるガイドができたのだろうか、まだまだ心もとないガイドではなかった

かと反省しきりである。今年の目標は、回復者の方々の生き方に学びながら、2度にわたる「無らい県運動」によりこの地に全国最多の入所者を県民が隔離したことなど、地域の歴史とあわせて菊池恵楓園の歴史を正しく伝えることとした。

ガイドをさせてもらう中で、見学者に合わせての丁寧な回復者の方々の証言や、多彩なボランティアガイドの解説から、歴史資料館の写真・資料だけでは伝えきれない思いを強く感じた。

多摩全生園(東京都)

では、ハンセン病記念公園「人權の森」構想に沿った、史跡建造物の保全が

進められ、男子独身寮旧山吹舎や望郷の丘が復元されている。菊池恵楓園でも、絶対隔離の象徴となる隔離門や独身寮等の現地復元ができないものであるだろうか。熊本近代化、医療に関わった歴史遺産が、菊池恵楓園にはたくさん詰まっている。

### 投稿される方へ

「読者のひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。あて先は①郵送 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者のひろば」係 ②ファクス 096(363)1268 ③Eメール hiroba@kumanichi.co.jp